

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	皮膚がん	
	タイプ	医学情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Case-control study of sun exposure and squamous cell carcinoma of the skin	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	SCC-CQ1-1	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ IV ）	
	Pubmed ID	9663594	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Int J Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	77	
	号		
	ページ	347-353	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	1998	
	著者情報		氏名
筆頭著者		English DR	Univ. Western Australia
その他著者 1		Armstrong BK	New South Wales Cancer Council
その他著者 2		Kricker A	National Breast Cancer Center
その他著者 3		Winter MG	Univ. Western Australia
その他著者 4		Heenan PJ	Univ. Western Australia
その他著者 5		Randell PL	Sir Charles Gairdner Hospital
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	紫外線曝露と皮膚 SCC に関する様々な因子の解析	
	研究デザイン	症例対照研究	
	セッティング	オーストラリア	
	対象者	1 3 2 例の SCC 患者と 1 0 3 1 例のコントロール (全てオーストラリアで生まれ生活している者)	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (4)	
	介入 (要因曝露)	過去に紫外線曝露を受けた状況	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1	皮膚 SCC の発生	1.主要 2.副次 3.その他 (1)
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	主な結果	SCC ができた部位における紫外線曝露歴についてインタビューを行った。SCC の発生と相関がみられた因子は、小児 (8-14 歳、OR:5.1) と思春期 (15-19 歳、OR:3.8) における紫外線暴露、サンバーン時の水疱形成 (OR:2.1) であった。日々の日光曝露のパターンには相関はみられず、サンスクリーンや帽子の使用については一定した結果は得られなかった。	
	結論	SCC の発生には、サンバーン (紫外線に対する皮膚の感受性) が強く関わっている。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	宇原 久	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (IV) SCC の発生にサンバーンの程度やそれを受けた年齢が重要であることを示した価値ある論文である。	

